

2026年5月29日

埼玉県内の営業店・店舗外ATM51か所での 再生可能エネルギーの導入について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2026年5月、埼玉県内51か所の営業店・店舗外ATMにて、株式会社サイサン（代表取締役社長 川本 知彦）グループの株式会社エネワンでんき（代表取締役 吉澤 正人）が供給する再生可能エネルギー由来の電力^{注1}について、株式会社ガスワン埼玉（代表取締役 柳 英実）を販売代理店として導入いたしましたので、お知らせします。

当行は、埼玉県のカーボンニュートラル実現に向け、本店・事務センターで使用する全電力を再生可能エネルギーに切り替えているほか、EV（電気自動車）や省エネ設備導入、従業員のワークスタイル見直しを通じた節電などに取組んでおります。

当行ではこのようななか、2026年4月、CO₂排出量削減に係る2030年度までの中長期目標をこれまでの「マイナス70%」^{注2}から「マイナス100%」に見直し、脱炭素社会の実現に向けた取組みを一層加速していくことといたしました。

今般の再生可能エネルギー導入は、こうした取組みの一環であり、国内外で幅広いエネルギー事業を営んでいるサイサングループのご協力のもと実施に至ったものです。

51か所の営業店・店舗外ATMのCO₂排出量が実質ゼロとなり、年間で600トン^{注3}のCO₂削減に貢献します。

《概要》

導入施設	埼玉県内の営業店	29か店
	同 店舗外ATM	22か所
CO ₂ 排出削減量	年間600トン	

注1 CO₂を排出しないという「環境価値」があることを証明する「非化石証書」が付与された電力となります。

注2 2013年度対比の削減目標。

注3 「温暖化対策の推進に関する法律」（温対法）に基づく2024年度実績調整後排出係数により算出。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 サステナビリティ推進室 笠井 勇哉
048-641-6111（代表）